

# 風

富田守男  
⑩ (現場)からの



親睦会場の雰囲気は、友だちにも旅行の誘いをしたくなるほどだ

5月中旬、募集人員200名の「浜名湖花博2014と世界文化遺産富士山を巡る豪華黒潮温泉の旅」に参加した。貸し切りバス。台が運ぶ旅を体験。大勢が同じ目的地を目指す旅行は、修学旅行

以来だ。年配の参加者も多く、場所ごとの集合時間に間に合わないのではとの心配を打ち消す、旅慣れた行動力に感心してしまふ。

松本信用金庫で年金を受け取る者が構成された催事が企画された。親睦の旅。幹部役員や各支店からも派乗者が同乗して、参加者の世話を熱心にしてくれる。年金受給者は2万円を超え、現金は金

込金融機関を決定した人も。当初は、家族も参加できなかったが、今回は300名近い参加者で定員を上回り、年金受給者でなければ参加できないほどの好評な企画だ。派乗の職員は、車内では飲み物やお菓子を配ったり、ビンゴゲームの進行役、休憩場所では他の車との事故防止の案内

全部をこなすことができなかったほど見応えがあった。植物や花をテーマにしたイベントに数多く出かけるが、どこにいても盛況だ。大北地域でも単山を樹木や花で飾り切った整備ができていないのかと尋ねてしまふ。会場内の徳川園芸館は興味深かった。徳川家康公の花好

き、二代将軍の秀忠公の盆栽好きや、「BONSAI」は英語になるほど「日本の園芸文化であった事など知る事ができな。将軍から庶民まで、身分や階級を越えて日本特有の価値観や美意識が、今なお引き継がれている事を感ずる。

夜の親睦会は、バス内のカラオケ大会でバスごごに代表で歌を披露。代表者が出番になるとバスに同乗した参加者全員がステージを囲んで大合唱。バスごとの仲間意識が強まる企画で、金融機関の狙いが伝わってゐる。

旅の楽しみ方の一つに買物がある。石原水産マリンステーションでの参加者の買いっぷりは見事だ。あまの広く広い店舗だが、一番買いたい鮮魚は一番奥

に、衝動的に買ってしまう物は入り口付近に、精算箇所を少なめに、長く店舗内にとどめる工夫に感心している。幹部役員も多くのノウハウを地元

の活性化につなげたいとの思いなのだろうが鋭い視線を投げかけている姿が印象に残る。

この旅で気になったことがあった。食事は全員が同じ時間に取るため統一メニューで仕方がないのだが、人それぞれ食べ物の好き嫌いや、食事制限をしている人もいるはずだ。

融機関の預金の3割を占め、残高は確実に増える優良預金者。気の使いまわしは半端ではない。親睦旅行は今年で26回を数え、この旅に参加したくて、年金振

うほびた。

「白馬に訪れた浜名湖花博、平成16年に開催された浜名湖花博から10年目の節目として盛大に開催されている企画だ。1000万株の花のちもてなしと感動の花回廊」と銘打った浜名湖ガーデンパーク会場。平日にも関わらず大勢の見学者。会場の担当者に尋ねると「今日は少ない方、明日はバス1000台

以上の予約が入って混雑が心配」と笑顔で答える。広い会場に趣の異なるエリア、それぞれに小道があり、多々を見たいの思うが、急ぎ足で回るのが

ためだ。逆に考えれば大北地域を訪れる場合にも当てはまる。上高地や浅井に巻き込まれ、運転時間を大幅に上回り、翌日は代行のバスを手配した」との事も聞かされてくる。リ

スタの多い大北地域への旅の企画をカバーする知恵がより求められていることを真剣に考えたいと感じた旅でもあった。

(NPO法人信州地域社会フォーラム理事・白馬村森上)

た。逆を言えば大北地域を訪れる場合にも当てはまる。上高地や浅井に巻き込まれ、運転時間を大幅に上回り、翌日は代行のバスを手配した」との事も聞かされてくる。リスタの多い大北地域への旅の企画をカバーする知恵がより求められていることを真剣に考えたいと感じた旅でもあった。